



第 43 回全国大会終了報告

担当者： 全国大会委員会 委員長 小松川浩（千歳科学技術大学），
現地大会実行委員長 金子大輔（北星学園大学）

この度は、第 43 回全国大会にご参加くださり、ありがとうございました。全国大会を運営する委員一同を代表して御礼を申し上げます。

北海道にお越しになられた方々は、台風 21 号だけでなく、北海道胆振東部地震とそれに伴う大規模停電の影響をまともに受けられ、苦勞なされたことと思います。特に震災初日の夜は、電気も水も情報も無い中、避難所で過ごされた方もおり、本当に大変な夜であったと聞き及んでおります。この地震では開催校の北星学園大学も被災し、一時立ち入り禁止となりました。さらに大会委員も皆被災していたため、皆様方には結果として、個々人の判断で震災に対応して頂くことになってしまいました。自然災害とはいえ、大会を運営する側としてはご不便をおかけしたことを申し訳無く思っております。なお、日本国中の暖かいご支援もあり、お陰様で、震災 3 日後には、余震は残るものの、北海道ほぼ全域で停電も解消されました。

北星学園大学にお越しくくださった参加者は、371 名、懇親会で 206 名でした。なお、台風及び地震の影響で発表がかなわなかった場合であっても発表扱いと致します。また、参加がかなわなかった 30 名の方には、ヘルプデスクより、プログラム・参加証・CD等を送付いたします。今回の大会では、プレカンファレンスに 8 テーマ、17 セッションからなる企画セッションに 63 件の発表、7 件の学生研究特別セッション発表、117 件の口頭発表、インタラクティブ発表 47 件の発表となりました。奨励賞の審査も無事終了し、4 件のご発表が奨励賞に選ばれました。受賞の皆様、大変おめでとうございます。あわせて、例年クロージングで行っておりますスタンプラリーの抽選も厳正に行いました。当選されました方は大変おめでとうございます。ご参加くださいました企業の皆様方には、停電の影響が残る中、撤収作業にご協力頂きましたこと、本当に感謝申し上げます。次に、来年度の大会ですが、情報交換会でもご紹介いたしました通り、静岡大学（浜松キャンパス）にて開催する予定であります。日程及び大会テーマが確定しましたら、ホームページ等でご連絡をさせていただきます。

最後に、大会の中止でご心労をおかけしているにも関わらず、「今回の大会での北海道脱出は、とても良い経験（学び）になった」とご厚情あふれるお言葉を頂く機会がございました。今回の大会での（「脱出」も含めた）ご経験が、日頃の皆様方の教育・研究に多少なりとも生かされるのであれば、大会運営側には何よりの励みになると思っております。来年の大会では、今年の「大変な学びの成果」を会員間で共有して頂き、今回の試練で培われた絆をさらに深めて頂ければ幸いです。



第 43 回全国大会奨励賞審査結果

担当者： 第 43 回全国大会奨励賞最終審査会

大会奨励賞は、教育システム情報学および関連分野における学問の発展を奨励するため、その貢献が顕著である新進の研究者に贈呈するものです。受賞時に本学会の会員(入会申請中を含む)であって、40歳を越えていない、または、本学会入会時から10年を経過していない方が対象となります。また発表論文の第一著者であり発表時において登壇者であること、直近の過去2回の大会でこの賞を受賞していないことも条件となります。

大会奨励賞審査委員会により論文審査・発表審査を行い、本大会の審査対象論文 77 件(口頭発表の部：52 件、インタラクティブ発表の部：25 件) から、以下の論文の各第一著者を大会奨励賞に選定いたしました。

(以下は講演番号、発表題目、著者(○は受賞者)、所属の順)

<口頭発表の部>

A1-3 キーストロークデータに基づくライティングプロセス推定のための執筆者依存型隠れマルコフモデル

○宇都雅輝(1)、宮澤芳光(2)、加藤嘉浩(3)、中島功滋(3)、桑田一(3)【(1)電気通信大学大学院、(2)東京学芸大学、(3)ベネッセ教育総合研究所】

A2-1 災害時の避難行動選択における競合の疑似体験が防災学習への動機付けに及ぼす影響に関する検討

○北川悠一(1)、木村雛子(2)、田中孝治(3)、池田満(3)、堀雅洋(1)【(1)関西大学大学院、(2)関西大学、(3)北陸先端科学技術大学院大学】

D4-2 IPネットワーク構築演習における対話による説明モデルの獲得を支援する協調学習者ロボット

○伊藤旭(1)、井口信和(2)【(1)近畿大学大学院、(2)近畿大学】

<インタラクティブ発表の部>

SP-1機械学習を用いた 生体情報からの学習者の心的状態のリアルタイム推定と学習支援の試み

○宇野達朗(1)、田和辻可昌(2)、松居辰則(2)【(1)早稲田大学、(2)早稲田大学人間科学学術院】

以上 4 件



科研費申請支援 受付中です

人材育成委員会 瀬田和久 (大阪府立大学), 越智洋司 (近畿大学)

若手研究者向け科研費申請支援, 受付中です!

科研費申請支援制度は, JSiSE 理事, 科研審査経験がある学会員などが採択に向けたコメントを提供するものです. 当該分野のシニア研究者からコメントを貰える点が特徴です. また, 1 週間程度を目標に素早くコメントを提供します. 申請は随時, できる限りお受けしますので, jsise-y-support@jsise.org まで Word もしくは PDF ファイルをお送りください. その際, 事前に下記エントリーサイトに必要情報をご記入頂いているとその後の流れがスムーズです.

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSciXTV5vHweX-41tqzdSGC0L7TTYiZ-E7EWYcEG8kSLBkPM6A/viewform>

※ エントリーがなくてもお受けいたしますが, 事前にご入力頂いておけば, コメントータを事前に決めておくことができます. 申請書受領後にコメントータに迅速に送ることができるので, コメント受け取りまでの期間を短縮できます.

なお, 全国大会プレカンファレンス「採択される科研費申請書の書き方と科研費申請支援制度」の講演資料も下記 URL にて公開されています. 制度内容をまとめているので事前にご一読の上ご活用ください. 「科研費申請書の書き方」については, 若手研究者に限らずみなさまにご参考いただける内容ですのでどうぞご活用ください.

最新情報は, 学会 HP (<http://www.jsise.org/y-support/index.html>) をご覧下さい.

ご質問, ご相談は, エントリーサイトにご記入頂くか, jsise-y-support@jsise.org までお送りください.

積極的なご活用をお待ちしております.



学生研究発表会優秀発表者の全国大会優待企画と 特典利用者の参加報告

人材育成委員会

本学会は若手研究者の育成に力を入れており、学生研究発表会の開催の他に、全国大会において各地区から代表者を1名選定した「学生特別セッション」と、学生研究発表会優秀発表者を対象とした「全国大会優待」を企画しております。

「全国大会優待」は、学生研究発表会優秀発表者全員に対し、全国大会での発表ならびに参加報告の提出を条件として、

- ・全国大会参加費等の全額免除（懇親会費、旅費・宿泊費除く）

を特典とするものです。今年度は、29名の該当者（優秀発表賞/優秀ポスター賞）に対し、5名が特典を利用しました（うち、1名は台風の影響で参加・発表ができませんでした）。

以下に、全国大会に参加・発表した特典利用学生4名の参加報告を掲載します。

本全国大会にて、自分の研究成果を発表することで、自分の研究がどのように評価されるのかが、より明確に理解できた。また、発表における質疑を通して、研究で洗練していくべき部分や、発表において気を付けなければならない部分をはっきりとした。研究を洗練していく上で、全国から人が集まり、議論を交わせる、このような場は貴重な時間だったと思う。また、自分以外の発表についても、洗練された発表が数多くあり、様々な知見を得る、とても良い機会になった。加えて、企業からの出展もあり、興味深い話をたくさん聴くことが出来た。

（電気通信大学 修士2年 足立 祥啓）

貴重な機会をいただきありがとうございました。今回の学会で印象に残っている言葉を一つ挙げると、基調講演での「プロとアマ」の話です。ある発表で、執筆スキルが高い人は執筆が早く推敲に時間をかける傾向があるというものがありました。これは「プロとアマ」の話と同じだと感じました。自分はアマのやり方をやっているのですが、今後はプロのやり方を意識していきたいです。また、他の人の発表や講演、先生方との食事の機会など有意義な経験できてよかったです。

（高知大学 修士1年 柴崎 智哉）

この度は、優待特典により全国大会に参加させていただき、ありがとうございました。本大会では、自身の発表に対するフィードバックを得るだけでなく、多岐にわたる教育技術の発展の様相を知りながら、研究者として必要な幅広い視点や知識について同時に学ぶことができました。また、同じ研究分野で研究をなさっている全国の先生の皆様、学生の皆様と直接お会いすることができ、意見を交える貴重な経験ともなりました。今回ご指摘いただいたこと・意見交流で得られたことを考慮した上で、今後も研究に取り組んでまいります。

(九州大学大学院 修士1年 濱田 さとみ)

このたびは、全国大会という貴重な発表の機会をいただきまして、誠にありがとうございました。質疑応答の際に多くの先生方から質問やご意見をいただき、非常に勉強になったとともに、研究を再考する機会を得ることができました。普段は得られない、研究室外からご意見をいただけることは非常に有り難く、貴重な経験であると実感しました。また他の参加者の方の、多岐にわたる研究分野の発表を拝聴させていただいたことで、たくさんの刺激を受けた学会となりました。本大会で学んだことを生かして、今後の研究活動に取り組んでまいりたいと思います。

(熊本県立大学 4年 安増 さやか)

人材育成委員会では、今後も若手育成を活性化させる企画を検討していきます。



第 4 回研究会開催案内

担当者： 松浦健二(徳島大学), 柏原昭博(電気通信大学), 小尻智子(関西大学), 曾我真人(和歌山大学),
長谷川忍(北陸先端科学技術大学院大学)

■テーマ：システムティックなスキル向上支援環境／一般

■開催日時： 2018 年 10 月 27 日 (土) 9:30~17:00 (予定)

■会場：

徳島大学 常三島キャンパス (徳島市南常三島 1-1)

徳島大学教養教育 4 号館 203, 204 室 (予定)

(申込件数の関係で, 当初の 202 教室から変更予定です)

<http://www.tokushima-u.ac.jp/campusmap/josanjima/>

■趣旨：

本年度第 4 回研究会は「システムティックなスキル向上支援環境／一般」のテーマで実施いたします。スキル学習支援, 同獲得・開発支援に関する様々な研究がなされています。スキルとは, 身体性と知性といった二元論的発想は既に支配的考え方ではなくなり, またその対象には, 数学, 語学といった分野から, 音楽, 芸術, スポーツ, 医療, プログラミングなどあらゆる学習可能な分野に広がって捉えられています。その支援研究のアプローチの中心には, 人間の暗黙知, 経験知を形式知化して, 伝達・表現することの重要性があり, これまでも多数の研究者が主張しているところです。ただし, 身体知の個別性をもたらす支援や理解の困難さは, 対象領域ごとの問題として明確に意識した適応的研究アプローチが必要であり, システムのモニタリング, 分析, 動的な支援エンジンなどが一般に必要です。

本研究会では, 個々の研究が対象とするスキルに対する新しい概念, 構造記述, 構成手法, 支援手法, 評価手法などの議論を前提に, システムティックな支援環境の研究開発を幅広く募集します。本学会対象領域における, 学習モデル, 学習分析, 技術開発, 実践・運用, 評価など多様な観点からの活発な議論を行えればと考えます。

また, このようなテーマに沿った発表のほか, 本学会の取り扱う領域における一般の研究発表も予定していますので, 多くの皆様からのご参加をお待ちしております。

当日のプログラムは, 決まり次第下記 URL で公開します。

http://www.jsise.org/society/committee/2018/CFP_4th.html

■発表時間： 25 分 (発表 18 分, 質疑 7 分) を予定しております

■参加費等：

研究会への参加は無料です。研究報告（講演論文集）は、1,000 円で当日購入できます。研究報告は電子化されており、インターネット経由でダウンロードするか、受付に準備する USB メモリからコピーしていただきます。詳しくは以下のページをご覧ください。

http://www.jsise.org/utility/information/howto_jrr.html

■懇親会：

研究会終了後、18 時から懇親会を開催する予定です。会費は 5000 円の予定です。

（4500 円程度としておりましたが、金額変更になりました）

■お問い合わせ先：

松浦健二（徳島大学、第 4 回研究会担当委員）

E-mail：ma2_at_tokushima-u.ac.jp（「_at_」は、半角の「@」に変更してください）



第 5 回研究会開催案内

担当者： 佐々木整（拓殖大学），三石大（東北大学），光原弘幸（徳島大学），
高木正則（岩手県立大学），鷹野孝典（神奈川工科大学）

■テーマ：新技術と教育情報を活用した教育学習環境の設計／一般

■開催日時： 2019 年 1 月 12 日（土）

■会場：

コラッセふくしま(JR 福島駅西口より徒歩 3 分)

<http://www.corasse.com/access>

■趣旨：

新しい技術の登場は、次世代教育・学習環境の設計・開発・実践について新しい発想を与えてくれるとともに、その実現に欠かせないものとなっています。スマートデバイスやクラウドコンピューティング、IoT、ディープラーニング、ロボット、VR・AR 技術など、多様な新技術の利用に基づく教育・学習環境の構築や授業設計がますます重要になっていくことでしょう。

本研究会では、このような新しい技術と教育情報を活用した次世代教育・学習環境について、そのための教授設計も含め、システム・基礎技術の開発、実践、ならびに、新しい教育・学習手法に関する幅広い研究発表を募集し、共に考える議論の場としたいと思います。

■主な対象：

- スマートデバイスと Web 環境の連携等の新しい学習形態と手法に関する設計・研究・開発
- VR・AR 技術やセンサー装置を活用した体験・参加型の学習支援システムの設計・研究・開発
- IoT やディープラーニングによる新しい教育・学習環境のデザイン、活用に関する研究
- Web やセンサーネットワーク、アドホックネットワーク等を活用した新しいネットワーク活用・教育手法に関する設計・研究・開発
- ネットワークコンピューティングを活用した新しいデバイス技術に関する設計・研究・開発
- 新しい教育・学習環境と学習効果・教育効果に関する研究
- スマートデバイスを活用した協調学習、アクティブラーニングに関する研究
- その他教育システム/e ラーニング一般

■発表申込締切：2018 年 11 月 26 日(月)

■発表原稿提出締切：2019 年 12 月 11 日(火)

■発表申込および原稿提出

下記 URL の当学会ウェブサイトより研究会開催のご案内にアクセスし、お手続きください。

<http://www.jsise.org/>

注) 研究会予稿集電子化に伴い、「執筆要項」や「講演申込・原稿の投稿方法」を変更致しました。以下のページをご確認ください。

・研究会執筆要領：

<http://www.jsise.org/society/pdf/format.pdf>

・研究会報告見本：

<http://www.jsise.org/society/pdf/sample.pdf>

・研究会報告ひな形：

<http://www.jsise.org/society/doc/sample.docx>

・オンライン講演申込・原稿投稿方法：

<http://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf>

発表時間は 25 分（発表 18 分、質疑 7 分）を予定しております。発表件数によって発表時間が変更されることがあります。

■懇親会：研究会終了後、懇親会を開催する予定です。会費は 4,000 円程度の予定です。

■お問い合わせ先：

第 5 回研究会担当委員（代表：拓殖大学 佐々木 整）

E-mail：jsise-sig-5th@googlegroups.com（「@」の部分は、半角の「@」に変えて下さい）



2018 年度学生研究発表会発表募集（第 1 報）

人材育成委員会

今年度も学生研究発表会を下記の通り開催する予定です。詳細未定の地区もありますが、スケジュールの最新情報ならびに申込み方法は、学会ウェブページにて更新していきます。皆様の積極的な参加・発表をお待ちしております。全国大会との連携企画も検討しております（特典内容は未定です）。

申込み期限は 1 月下旬、発表原稿提出は 2 月中旬を予定しております。

開催地区 開催都市	開催場所・開催日 実行委員長（連絡先）
北海道	開催予定（詳細未定）
北信越 金沢市	しいのき迎賓館・2019 年 3 月 4 日（月）～ 5 日（火） 長谷川忍・hse-submit@jsise.org
関東	開催予定（詳細未定） 山本樹（創価大学）・jsise-kanto-sub@jsise.org
東海	開催予定（詳細未定）
関西 大阪市	関西学院大学大阪梅田キャンパス・2019 年 2 月 28 日（木） 河野 稔（兵庫大学）・kawano@hyogo-dai.ac.jp
中国 広島市	広島市立大学サテライトキャンパス・2019 年 3 月 2 日（土） 岩根 典之（広島市立大学）・iwane@hiroshima-cu.ac.jp
四国 鳴門市	鳴門教育大学・2019 年 3 月 14 日（木） 光原 弘幸（徳島大学）・mituhara@is.tokushima-u.ac.jp
九州 大分市	J:COM ホルトホール大分・2019 年 3 月 9 日（土） 坪倉 篤志（日本文理大学）・tsubokura@nbu.ac.jp
沖縄 那覇市	琉球大学・2019 年 3 月 1 日（金） 谷口 祐治（琉球大学）・taniguchi@cc.u-ryukyu.ac.jp

発表方法：口頭発表またはポスター発表（ポスターは会場によっては募集しておりません）

留学生の方の発表（英語・日本語）の発表も歓迎します。

発表資格：大学生（短大生、高専 4・5 年生・専攻科を含む）、大学院生（修士・博士課程在籍者）.
社会人学生も参加可能です。

※いずれも JSiSE 正会員である推薦人（指導教員または関係者）の推薦が必要です。

発表場所（地区）：自分の所属する大学等の場所と一致していなくても OK です。



学会誌特集号論文募集

担当者： 学会誌編集委員会委員長 小西 達裕（静岡大学）

「人工知能，IoT がもたらす新たな学習・教育・管理の促進」

論文投稿締切：2019年6月3日

2020年4月1日 発行予定

人工知能やIoTの新しい技術は，社会の様々な分野で革新をもたらしつつあります．人工知能技術は，人の膨大な量の学習記録から機械的に特徴を見出すことで，これまでの常識を超える知見を提示しています．また，ネットワークに接続するデバイスの活用は，これまでには実現できなかった新しいサービスを創出しています．こうした社会への大きなインパクトは，教育システム情報学の領域においても，これまでにない発想による新しい学び方，新しい教え方，新しい教育の管理をもたらすと期待を集めています．本特集号は，「人工知能，IoT がもたらす新たな学習・教育・管理の促進」に関する研究論文を募り，新しい教育システム情報学の知識構築を目指します．

1. 対象分野

人工知能，IoT 技術を駆使する，人の学習に関する研究，人の教育に関する研究，教育管理に関する研究を募集します．機械学習やビッグデータ，データマイニング，ロボットを活用・応用する研究や，IoT を駆使する研究，ラーニング・アナリティクス，学習・教育の調査・分析・予測，学習・教育の管理，教育の IR です．これらキーワードの周辺を含め広く募ります．

2. 論文種別

すべての種別（一般論文，実践論文，ショートノート，実践速報）の論文を募集します．なお，査読を通して，異なる種別での採録となる場合があります．

また，内容により一般号掲載論文へ変更する場合があります．

3. 投稿要領

学会誌原稿執筆要領に準じます．詳細は学会 Web ページをご確認ください．

投稿の際は，次の点にご注意ください．

- 「投稿種別」について「特集号」を選択ください．
- 特集論文研究会で発表された方は，投稿情報入力の際，「事務局への連絡事項」の欄に，特集論文研究会の発表題目，発表番号を記入下さい．
- 英文で投稿される場合は，本学会英文誌へ投稿ください．

4. スケジュール

論文投稿締切： 2019年6月3日（月）
採録通知予定： 2019年11月初旬頃
学会誌掲載： 学会誌 Vol. 37, No. 2, 2020年4月1日発行予定

本特集号と同一テーマの研究会「特集論文研究会」を開催します。是非、ご発表、ご参加ください。

特集論文研究会： 2019年3月16日（土）
会 場： 武蔵野大学 有明キャンパス（東京都江東区有明3-3-3）
発表申込締切： 2019年1月21日（月）
原稿提出締切： 2019年2月7日（木）

5. 編集委員

委員長： 小西 達裕（静岡大学），委員： 学会誌編集委員

6. 問い合わせ

全 般： 松田 憲幸（和歌山大学）
E-mail: matsuda@sys.wakayama-u.ac.jp
Web投稿： 編集事務局
電話： 03-5389-6492
E-mail: jsise-edit@bunken.co.jp
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-4-19 株式会社国際文献社 長澤氏



研究会報告年間購読の申し込みについて

研究会報告は、2016年度からは印刷媒体での研究会報告は廃止し、オンライン上でタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となるように、研究会報告を電子化しています。保管などの手間もなく、大変便利に活用できるようになっております。

是非、研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです。研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが、年間購読がお得となっております。

- ・年間購読:4,000円(定例研究会年6回、特集研究会1回、計7回分を含む)
- ・当日販売:1冊1,000円

新規での「年間購読」申込みにつきましては、年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いいたします。以下の手順でお申し込みください。すでに年間購読をしていた方は手続き不要です。

- 1) 年会費納入手続きの前に、下記フォームにて事務局 (secretariat@jsise.org) まで年間購読申込をしてください。

=====
※研究会報告年間購読希望
会員番号 (お分かりであれば) :
お名前 :
所属 :
連絡先 e メールアドレス :
=====

- 2) 手続き終了後、事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます。
- 3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください。

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は、事務局 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。年間購読の請求書をお送りし、会員種別変更の手続きを進めさせていただきます。



教育システム情報学会研究会における 不適切な質問等への対応について

教育システム情報学会 研究会委員会

教育システム情報学会研究会は、教育システム情報学に関わる最新の研究や実践に関する情報交換および意見交換を通して、学会の発展、ひいては当該研究分野の発展において極めて重要な役割を果たしています。さらに、専門領域の近い研究者による緊密なネットワークが大学や研究機関を越えたところで構成されているため、若手研究者の発掘や育成、今後社会に出る学生の教育の場としても、研究会の重要性は非常に大きくなっています。

こうした研究会においては、様々な立場の参加者が自由闊達に議論できることが最も重要です。一方で、意見交換や育成・教育の範囲を大きく逸脱して、研究方法や研究分野、さらには発表スタイルなどを問題とする質問等を執拗に行い、発表者や聴講者に不快感や不利益を与えることは厳に慎まなければなりません。こうした問題が放置されると、研究会への参加だけでなく、学会活動全般、さらには教育システム情報学への関心の拡大に大きな悪影響を及ぼします。

教育システム情報学会研究会においては、意図の有無に関わらず、正当な根拠なく相手に不利益を与え、相手の尊厳を侵害する行為があった場合に、研究会担当委員および座長担当者が、質問の制止や質問者に退席の指示を行えるものとしています。研究会の参加者だけでなく、研究会に関連する全ての人々が快適で安心して研究会に寄与できる環境を維持し、研究分野のさらなる発展と、これを通じた社会貢献を行うために、研究会における皆様の建設的な質疑へのご協力をなにとぞよろしくお願いいたします。



Twitter アカウントの紹介

2016年8月下旬より、全国大会開催に合わせて学会の公式 Twitter アカウントを開設しました。本アカウントは原則として当学会の広報を目的とした配信専用としております。本学会へのご質問・お問い合わせは、学会事務局 (secretariat@jsise.org) へお願いします。また、Facebook アカウントとの連携もっており、Facebook ページの投稿が Twitter にも流れますので、ぜひご活用 (フォロー) ください。

<https://twitter.com/JsisePr>

◇ 2018年9月26日現在、フォロワー数 219 アカウント



Facebook ページもご覧ください

教育システム情報学会では Facebook ページを運用しています。本ページでは、

- ・論文・発表募集
- ・本学会に関連するイベントの情報

などを、いち早くお届けします。ぜひ、ご覧下さい。

Facebook ユーザの方は、ぜひ、「いいね」をお願いいたします。

<https://www.facebook.com/jsise.org/>

◇ 2018年9月26日現在、いいね 349 件、367 人フォロー



他団体 協賛・後援イベントのお知らせ

共催 「マイクロソフト認定教育イノベーター（MIEE）関西交流会」

日時：2018年10月14日（日）

会場：内田洋行大阪支店ショールーム

協賛 「高校教科「情報」シンポジウム2018秋 ジョーシン2018秋」

日時：2018年10月27日（土）

会場：早稲田大学西早稲田キャンパス（理工学部）

共催 「第13回医療系eラーニング全国交流会」

日時：2018年12月8日（土）～12月9日（日）

会場：東京医科大学病院 教育研究棟3階

後援 「第18回日本情報オリンピック」

日時：予選：2018年12月9日（日）

本選：2019年2月9日（土）・10日（日）

会場：つくば国際会議場・国立オリンピック記念青少年総合センターほか



国際会議のご案内

- 2018年11月開催
 - ◇ The Fourth International Conference on Electronics and Software Science (ICESS2018)
開催期間 : November 5-7, 2018
開催地 : Takamatsu, Japan
URL: <http://sdiwc.net/conferences/4th-international-conference-on-electronics-and-software-science/>
論文投稿スケジュール : October 5, 2018

 - ◇ The 26th International Conference on Computers in Education (ICCE2018)
開催期間 : November 26-30, 2018
URL: <http://icce2018.ateneo.edu/>
論文投稿スケジュール : 締切済み

- 2018年12月開催
 - ◇ IEEE TALE2018: The IEEE International Conference on Teaching, Assessment, and Learning for Engineering 2018
開催期間 : December 4-7, 2018
開催地 : Wollongong, Australia
URL: <https://www.tale2018.org/>
論文投稿スケジュール : 締切済み



会費納入のお願い

2018 年度年会費納入についてのお願いです。学会の活動は皆様の会費で支えられていますので、ご協力のほどどうぞよろしくお願ひします。

「クレジット決済」、「コンビニ決済」をご希望の方は、下記のマイページよりお手続きをお願いいたします。

URL <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしている株式会社国際文献社のものです。

- 「銀行振込」をご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします。

■振込先

◆ゆうちょ銀行

口座記号番号： 00180-6-709632

加入者名： 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合

銀行名： ゆうちょ銀行 (金融機関コード： 9900)

店名： 〇一九 店 (ゼロイチキユウ店) 預金種別： 当座 口座番号： 0709632

名義： 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆三菱東京 UFJ 銀行 (金融機関コード： 0005)

店名： 上新庄支店 (カミシンジョウ支店)

預金種別： 普通 口座番号： 0142708

名義： 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆みずほ銀行 (金融機関コード： 0001)

店名： 茨木 支店 (イバラキ支店)

預金種別： 普通 口座番号： 1399483

名義： 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

- 請求書・領収書 (支払い後) は、マイページでオンライン発行できます。
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は、事務局 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。

※団体名でお振込みいただきますと、個人を特定できない場合がございますので、振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか、難しい場合は、振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです。
※所属が変わった方は、マイページにログインした際に、連絡先などを変更するようお願いいたします。

【過年度年会費未納の方へ】

マイページでは、全ての年度の未納金額を合算した金額が請求されます。先に本年度以前の過年度分のお支払いを希望される方は、先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか、学会事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡下さい。

※会費のお支払いが確認できない場合、学会からの送付物を停止させていただく場合があります。また、定款の定めに従って除名手続きを進めさせていただく場合があります。

ご不明な点は、事務局（secretariat@jsise.org）までお問合せ下さい。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
Tel:03-5937-5816 Fax:03-3368-2822 Email : secretariat@jsise.org



事務局より



会員専用ページのご案内

URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものです。

■会員専用ページでは、以下のことができます。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡をお願い致します。

ログインには、ID とパスワードが必要です。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくようお願い申し上げます。



入会のご案内

入会をご希望の方は、下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき、お申し込みをお願いいたします。

URL : <http://www.jsise.org/admission/index.html>

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、入会金を無料にさせて頂くというキャンペーンを行っております。そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。



新入会員のご紹介

下記の皆様が新しく入会されました。 2018年7月25日～2018年9月20日

会員名	会員種別	会員名	会員種別
永井 保夫	正会員	芦田 淳	学生会員
岩谷 久美子	正会員	伊藤 旭	学生会員
秋葉 広人	正会員	間瀬 皓介	学生会員
山下 利之	正会員	足立 祥啓	学生会員
平井 佑樹	正会員	榎本 浩義	学生会員
大西 高史	正会員	宇野 達朗	正会員
宇佐美 まゆみ	正会員	山本 朋弘	正会員

(計 14 名)